

令和6年度 西尾市多文化共生協議会 議事概要

日時	2024年10月2日(水) 14:00~15:00
場所	西尾市役所2階 21会議室
出席者	近藤敦会長、土井佳彦委員、近藤基宏(代理岡本昌弘)委員、木下典子委員、安藤寛一(代理田中明人)委員、神谷勉委員、川部國弘委員、高木祐子委員、手嶋修一(代理長谷川智一)委員、岩瀬恵委員、高橋文華委員、ワタナベ マテウス ハジメ委員、
欠席者	中西真希委員、トラン ティ ホワ委員、大河内リナ委員
事務局	西尾市 手嶋課長、佐野主任主査、加藤主事、大竹主事

1. 議題

(1) 西尾市多文化共生推進プラン施策実施計画・状況調査について

開会

事務局(大竹)

庁内各施策の状況調査結果及び未実施施策の今後の対応について説明

<委員からの意見>

高橋委員

ユーチューブのチャンネル登録者数、再生回数が少ない。

最近新しい動画がアップされていたが、もっと動画を更新しないと見る人も増えないのでは。予算の関係があることは承知しているが。

事務局(加藤)

そのとおりで、ユーチューブは予算が限られており、業者委託で年間2~3本しか作成できない。

川部委員

うちの桜町町内会の取り組みだが、マルサンさんの協力でゴミ置き場の改善、地域での交流活動に取り組んでいる。マルサンさんの社宅ができてから23年に渡ってやってきている。秋の祭礼では、ブラジルコーナーを出店し、サンバチームを呼んでもらった。地域の人と楽しい交流活動をしながら、祭りを盛り上げてもらった。今年も協力していただくことになっている。

鶴城ふれあいフェスタでは昨年、岩瀬委員が交流コーナーを作ってくれた。今年度もやってくれる予定。サンバチームも来てくれる予定。地域に根差した国際交流が必要。

地域の課題、ゴミの分別などの生活マナーの改善に市も実態を把握して取り組んでほしい。

新渡場住宅はどうか。同じ課題があるのではないか。

ワタナベ委員

以前はそうだったが、今は市役所と協力して住民向けの説明会を行った。その後少しずつ改善された。

近藤委員長

ちょっと動画の話に戻りますが、年間2、3件っていうので。優先順位として防災もあった方がいいので、来年でもいいので考えてみてください。

岩瀬委員

動画ですが、フォロワー数が少なすぎる。今フォロワー数が331人しかいない。

事務局

どうしたらフォロワーが増えるかアイデアはあるか。

岩瀬委員

まずは興味を持たせないととどり着かない。

高橋委員

月一回ぐらい、なんでなんでもいいから、例えば電子クーポンの話。そういったことも載せるといい。2年前もクーポンの動画があった。外国人がクーポンの話を知らないことが多く、もったいないと思った。自分は中国語しかできないからベトナム人やブラジル人の方に説明が難しかった。何でもいから定期的に新しい動画を掲載するといい。

岩瀬委員

例えば今年児童手当が変わるなどの話題は外国人は興味ある。西尾市が動画を掲載すれば再生回数はぐんと上がるはず。以前、マイナンバー登録すると5000円分のポイントがもらえる話を動画にした。その時も再生回数は増えた。外国人が興味のあるトピックスにすべきではないか。

今は注意喚起しかない。そうすると興味が無くなって見なくなる。

近藤委員長

提案ですが、中国語のSNSにそういう動画があるよと、ポルトガル語も同様ですが、

定期的に発信してもらえると、SNS を見ている人がどんどん見てくれるかもしれない。それぞれの言語のキーパーソンから情報を流してもらえるといい。

事務局

今はフェイスブックでキーパーソン（ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語）の方々に発信した情報をシェアしてもらっている。

フェイスブックのフォロワーは多いが、それがユーチューブにつながっていないっていうのは、動画内容や別の理由と思われる。

近藤委員長

そのフェイスブックでユーチューブのチャンネル登録をするように、もっと呼びかけるとよい。

神谷委員

クーポンの話は外国人の一部の人にしか伝わらなかったのか。

岩瀬委員

一部以下だったと思う。自分の個人的な意見だが、外国人はあまり文章を読む余裕がない。情報誌など、何かをじっくり読むことができない。でも動画は見るができると思う。

川部委員

新渡場住宅ではブラジル人とベトナム人、外国人同士のコミュニケーションは取れているか。

ワタナベ委員

大丈夫。コミュニケーション取れている。毎月集まる機会があつて、自分から市の情報（大切だと思う情報など）を共有している。

川部委員

ワタナベ委員のように頑張ってくれている人がいるうちはいいが、違う人になった時に変わってしまうのではないか。

高橋委員

町内会役員は順番に回ってくるものだと思うが、外国人が町内会長になることに抵抗がある場合もある。外国人だからって免除されるわけではないと思うが。

ワタナベ委員

自分は町内会長2年目で、その前は自治会長をしていた。そのさらに前は班長をしていた。

川部委員

役員を何年か経験しているから町内会長ができると思う。多くの地域では町内会長は1年交代で、なかなかうまく引継ぎができていない。だから地域がきれいになっていかない。

ワタナベ委員

班長の役割がわからない人が多かったので、私は前任の人に聞きながら引継ぎファイルを作った。町内会長のファイルも作ったので、私がいなくなっても大丈夫。何が重要かもまとめてある。ゴミのことも。引継ぎファイルは多言語化した。

高木委員

多文化共生キーパーソンについて聞きたい。防災リーダーに認定された方たちがその後活躍する場が無かった。一年間そのままにしておいたら、やる気になっていた方たちも、だんだんやる気が薄れていくのではないかという話はした。

西尾市が認定された方なので私たちのような民間団体がその人たちを動かすのはいかがだろうか等、答えが出ないままになっている。もう一年以上経過した。

資料1 ページ目のところ、令和6年度以降というところで、参加しやすいような内容を考えてっていう形にはなっているが、この時点で次年度以降の予算はすでに検討済みであると思うが、どのようなことを考えているのか。

事務局

アダジオさんに協力いただいて防災リーダー養成講座に参加してくださった皆さんはかなり意識の高い方々だったので、みなさんをまた何らかの形で呼びかける予定である。今年は2月に実践的な訓練を考えている。その先はまだ詳細には決まっていないが、外国にルーツを持つ方たちとながりを増やしていけるような仕組みづくりをしたいと考えている。

高木委員

一年に一回っていうスパンだと長すぎるのではないか。何かアナウンスするだけでもいいので、何か行動してもらう必要がある。民間のイベント、地域のイベントでもいい、認定した方々が活躍してもらえる場を年数回作ってほしい。

神谷委員

認定した人は何人いるのか。

高木委員

2年間で20人以上いる。

近藤会長

各地域で防災活動をやっているの、防災リーダーが自分の地域の活動に知り合いに声をかけて参加するのもいいのではないか。日本語ができない人にはその防災リーダーがサポートするといい。

岩瀬委員

西尾市には集住地域というより、各地域に外国人が散在している。集合住宅に住んでいない人も多い。吉良や一色には戸建てを買う人が増えている。その地域では外国人が孤立しているところもある。防災リーダーを活かせないか。防災活動だけでなく、フェスタジュニーナ（ブラジル人の祭り）にブースを出すでもいい。

高木委員

どんなことでもいいので、まず何か防災リーダーが活動する場を作ってほしい。

川部委員

いろいろな活動をやるべき。一方的に情報を流すだけというのが長年続いている。情報が届いたかどうか検証をしないと。

高木委員

災害が起きた時に何をすべきか周知するのも大事だが、南海トラフ注意情報が出た時にお米が店から無くなり、何が起こったかわからない外国人が多くいた。その時その時に必要な情報を SNS で流すべき。

ワタナベ委員

デマ情報が流れて外国人が混乱することもあるから SNS も危険。

高木委員

災害時にデマ情報が流れるので注意するように発信もできるので、SNS を活用して市が必要な情報を発信してほしいと感じた。

神谷委員

この前の南海トラフ注意情報は初めてのことで外国人だけでなく日本人も混乱した。

川部委員

大きな災害が起きた時には、きっと外国人は各国の外国人同士で集まることが想定される。そのような状況で、市はどのように全体の被災状況を把握するのか。誰が被災地を巡回するのか。

事務局（手嶋課長）

みなさんおっしゃるとおりである。現在のマニュアル等が現実に則したものか危機管理課との調整を含めて確認すべきだと思う。

2. その他

事務局

今後のスケジュールについて説明したい。この多文化共生プランが令和4年から令和8年までの5年間のプランとなっているので、来年度、令和7年、それから令和8年がプラン見直しの年になる。まず令和7年度は、令和2年に実施したような実態調査を予定している。その結果を元にプランを見直していくという流れになる。

アンケート調査自体、時間を要するものですし、来年度に入ってからアンケートの中身を確認しているとスケジュールがタイトになる。例えば今年度中に前回のアンケートを皆様にお送りし、意見をいただくのはどうかと考えている。

令和2年からの推移を見るのでアンケートの内容を大きくは変える必要はないかと思うが、新しくこんな項目を追加したらどうかといったご意見があれば、ぜひいただきたい。今年度中にアンケートの見直し作業を一緒に進めていきたいと考えているが、どうか。

会議として集まるかどうかは、また別途会長と相談させていただくが、まずは令和2年に実施したアンケートを改めてちょっと見ていただいてご意見いただくということを考えている。

土井委員

膨大な量の資料を確認となると時間もかかるため、アンケート内容の確認も書面会議という形で1回の会議としてカウントしたらどうか。

事務局

承知した。

事務局（手嶋課長）

4月から課長になり、今日は初めて参加した。川部委員の言われること、高木委員が言われること、皆さんからの意見はよく理解した。防災リーダーの活躍の場がない、そういったところも含めてしっかりと考えていく必要が確かにあると感じた。今後、今日いただいた意見を生かしていけたらと思う。

閉会

以上